

ドンペリドン錠 5mg 「日医工」 ドンペリドン錠 10mg 「日医工」

【この薬は？】

販売名	ドンペリドン錠 5mg 「日医工」 Domperidone Tablets 5mg	ドンペリドン錠 10mg 「日医工」 Domperidone Tablets 10mg
一般名	ドンペリドン Domperidone	
含有量 (1 錠中)	5mg	10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、消化管運動改善剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、上部（胃・十二指腸）消化管のドパミンの働きを抑えて、消化管の運動を促進・改善します。また、吐き気に関与する CTZ（化学受容器引き金帯）に作用して、吐き気を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。
成人では、慢性胃炎、胃下垂症、胃切除後症候群、抗悪性腫瘍剤またはレボドパ製剤投与時の消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気）
小児では、周期性嘔吐症、上気道感染症、抗悪性腫瘍剤投与時の消化器症状（悪

心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気)

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にドンペリドン錠「日医工」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・消化管出血、機械的イレウス、消化管穿孔のある人
- ・プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓に障害のある人
- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

1 日量	30mg（1 回量は 10mg） ただし、レボドパ製剤投与時は 15～30mg （1 回量は 5～10mg）
飲む回数	1 日 3 回 食前に服用

[小児の場合]

1 日量	体重 1kg あたり 1.0～2.0mg
飲む回数	1 日 3 回 食前に服用

1 日投与量は、30mg を超えないこと。

6 才以上の小児の場合、1 日最高用量は体重 1kg あたり 1.0mg を限度とすること。

1 才以下の乳児には用量に注意し、3 才以下の乳幼児には 7 日以上の連用を避けること。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により、内分泌機能異常（プロラクチンの上昇によって月経が不規則になる、または止まる、妊娠や授乳をしていないのに乳汁が出る、性欲が低下する）、錐体外路症状（動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない）等があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に相談してください。
- ・眠気、めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・この薬により、心室頻拍（めまい、動悸（どうき）、胸の不快感、気を失う）、心室細動（気を失う）等の重篤な不整脈があらわれることがあります。これらに関連する症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。心機能検査（心電図検査等）が行われることがあります。
- ・小児の患者さんに使用する場合は、錐体外路症状、意識障害、けいれんがあらわれることがあるので、ご家族の方は、脱水状態、発熱時等では特にこの薬の投与後の患者さんの状態について観察し、変化がみられたら医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック しょくく	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー あなふいらきしー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
錐体外路症状 すいたいがいろうしょうじょう	動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
重篤な不整脈(心室頻拍、心室細動) じゅうとくふせいみやく(しんしつひんぱく、しんしつさいどう)	めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、胸の不快感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、顔や手足の筋肉がびくつく、食欲不振、体がかゆくなる、体がだるい、動きが遅い、疲れやすい、力が入らない、冷汗が出る
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、一時的にボーっとする、気を失う、首のねじれやつっぱり
顔面	顔面蒼白
眼	眼球が上を向く、白目が黄色くなる
口や喉	喉のかゆみ、吐き気
胸部	胸の不快感、息苦しい、動悸
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえやこわばり、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、足がそわそわして落ち着かない、脈がとぶ、脈が遅くなる
皮膚	じんま疹、全身のかゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ドンペリドン錠 5mg「日医工」	ドンペリドン錠 10mg「日医工」
PTP シート	 表面 裏面	 表面 裏面
形状	フィルムコーティング錠 	割線入りの フィルムコーティング錠 
直径	6.1mm	7.1mm
厚さ	3.2mm	3.1mm
重さ	80mg	116mg
色	白色	白色～微黄色
識別コード (本体コード)	n 122	n 687
識別コード (PTP シート)	Ⓝ 122	Ⓝ 687

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ドンペリドン錠 5mg「日医工」	ドンペリドン錠 10mg「日医工」
有効成分	ドンペリドン	
添加剤	乳糖水和物、バレイショデンプン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）